

山崎高生 12月の活動

<p>概 要</p>	<p>1 防災避難訓練・防災体験活動</p> <p>本校生徒が、事故・災害が発生したときに、状況を的確に把握し、落ち着いて適切な行動をする能力や態度を身につけることや、地域と連携して、避難所等で主体的に活動する力を身につけることを目的に実施します。</p> <p>日 時 12月15日（金）9時～12時40分</p> <p>内 容 9時～9時30分 火災を想定した避難訓練（グラウンド） 9時50分～12時40分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生 土嚢積み体験・ロープワーク体験・防災学習 ・2年生 災害対応シュミレーションゲーム 段ボールベッド・担架づくり体験 (10時50分～加生自治会・かしの保育所参加) ・3年生 AED使用体験と心肺蘇生法・防災学習 ・生徒会執行部ほか 炊き出し訓練
	<p>2 県教委による進路ガイダンス</p> <p>本校教育類型の生徒や教員希望者の生徒を対象に、教員としての職業の魅力ややりがいについて、兵庫県教育委員会の職員が来校し、教員を職業選択の1つとして考え、教員を目指す人材育成を目的としたガイダンスを開催します。</p> <p>日 時 12月15日（金）14時～14時50分</p> <p>内 容 ・教員の仕事、その魅力とやりがい ・兵庫県の教育の特色 ・先生になるには</p>
	<p>3 献血活動</p> <p>日 時 12月22日（金）12時～16時</p> <p>場 所 本校同窓会館</p> <p>対 象 16歳以上の生徒、教員</p> <p>その他</p> <p>本校は、長年の献血活動に対して9月に「日本赤十字社功労感謝状」の贈呈を受けました。</p>
<p>参考資料</p>	<p>防災避難訓練・防災体験活動要項</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属 県立山崎高等学校 TEL 0790-62-1730</p>

令和5年度 12月避難訓練実施要項

1 目的

- (1) 事故・災害が発生したときに、状況を的確に把握し、落ち着いて適切な行動がとれる能力や態度を身につける。
- (2) 職員の指示に従い、生徒が整然と速やかに避難することができるようにする。
- (3) 災害発生後のさまざまな状況に応じ、臨機応変に対応できる能力を養う。

2 今年度避難訓練の重点事項

- (1) 生徒の点呼を確認する。
- (2) 避難経路を確認し集合場所へ速やかに避難し、非常時への意識を高める。

3 実施期日

令和5年12月15日（金） 9:00～9:30

4 避難場所

新グラウンド

*今回の避難訓練は、生徒・職員に事前通知をして実施する。

5 事前準備・指導

- (1) 職員は、『危機管理マニュアル』で役割を確認する。
- (2) 避難経路を確認する。
- (3) クラス担任は、防災時の行動・対応について生徒に周知徹底する。
 - ① 日常の生徒の出欠状況、健康状況などに注意を払う。
 - ② クラスに故障者がいる場合、事前に介助方法などを確認する。
 - ③ 指示に従い、静粛・迅速に行動するように周知徹底する。

6 実施内容 火災を想定した避難訓練

(1) 火災発生時の時程

① 第1限に実施

[通報班（事務室）は訓練5分前に西はりま消防組合指令センター（0791-76-7300）に連絡]

② 9:00 第2化学教室にて火災発生 *緊急放送を使用 [放送：事務長]

放送内容

火災の避難訓練です。
第2化学教室から火災が発生しました。
生徒と職員は至急避難してください（繰り返す）。

(2) 担任の指示内容（担任が避難誘導の指示。原則、避難経路図にしたがって避難）

- ① 負傷者確認 ⇒ 搬出体制指示（今回は実施しない）
- ② ストープ消火
- ③ 教室のカーテンを開け、窓を閉める。
- ④ 避難指示 ⇒ 押さない・校舎内では走らない・しゃべらない・戻らない。

(3) 運動場における集合・点呼・時程 [進行：北山]

① 生徒は学年集会の隊形に整列。(委員長・副委員長を先頭に、各クラス2列)

* 東側朝礼台を中心に南側新グラウンド入口方向から第3学年・第2学年・第1学年の順で整列する。(各学年の整列は学年集合係が指示)

ア 《点呼》クラス毎に確認〈総員数・現員数・不明者氏名〉

(生徒) クラス担任 ⇒ 学年主任 ⇒ 本部

イ 学年主任(主任不在の場合は副主任)は学年団教員を確認、同時に教頭に報告

ウ 班長(班長不在の場合は名簿名が前にある者)は各班職員の点呼を報告

② 9:20 講評及び諸注意 [消防署員]

③ 9:30 諸連絡

ア 9:50以降の各学年の日程確認をする。

イ 生徒昇降口で上履きをマット及び雑巾で拭いて、校舎に入る。

7 備考

(1) 運動場のマイク(2本)・朝礼台は開始までに総務部で準備する。

(2) 生徒昇降口の足ふきマットは総務部と技能主事で準備する。

(3) 訓練終了後、生徒昇降口から校舎へ内入るとき、雑巾で上履きの土を落とす。

(4) 雨天時は体育館へ避難する。

令和5年度 県立山崎高等学校防災体験活動実施計画

1 日時 令和5年12月15日(金) 9:50～12:40

2 内容等

実施学年	実施内容	実施場所	担当職員
1年 1～5組(169名) インストラクター(最低2名)	土嚢積み体験 ロープワーク体験	新グラウンド・同窓会館 *雨天時は全員同窓会館で	合田・北川・塚元・北・構 射延・長谷川 良玄・寺尾・浅岡
2年1～5組(157名)	(別紙)	体育館2階フロアー 教室	妹尾・武友・中島・長尾・魚住 ・日下・前野 ・石田・井垣・赤木 ・大林
加生自治会・かしの保育所		体育館2階フロアー 2-1教室	
3年1～6組(190名) インストラクター(最低2名)	AED使用体験と心肺蘇生 法	柔道場 剣道場	佐々木・田中宏・是安・須方 清水・井上・田口 竹谷・林・新見
生徒会執行部 (2-1農産・食品類型、地域貢献 委員、美化委員)	炊き出し訓練	中庭 *雨天時は渡り廊下の下へ	石橋・多々良・塚越・梅岡・藤井 山本・小田

福地 (全体写真)

3 時程

(1) 1年生

9:50 新グラウンド集合・点呼 (雨天時は同窓会館に集合)

10:00 土嚢積み体験 (1・2・5組 [奇数]) 原則2人1組

ロープワーク体験 (3・4・5組 [偶数]) 原則2人一組

10:50 土嚢積み体験 (3・4・5組 [偶数])

ロープワーク体験 (1・2・5組 [奇数])

11:50～12:40 防災学習・HR *雨天時は、同窓会館で一斉に行う。

(2) 2年生

9:50～11:40・・・別紙参照

11:50～12:40 防災学習・HR

(3) 3年生

9:50～ AED使用体験と心肺蘇生法 (1・2組)

10:30～ AED使用体験と心肺蘇生法 (3・4組)

11:10～ AED使用体験と心肺蘇生法 (5組)

奇数クラス：柔道場 偶数クラス：剣道場

11:50～12:40 防災学習・HR (1～5組)

4 準備物

(1) 土嚢袋 (100個)

(2) ロープ (80/85本)

(3) スコップ

(4) AED (練習用) と人形

(5) 延長コード

(6) マイク (体育館2本、運動場2本)

5 予算案

①土嚢袋 2,300円

②土 28,000円 (森本運輸)

【別紙】

防災体験活動(第2学年プログラム)実施要項

- 1 目的 (1) 非常時に備えて、避難所で主体的に活動できる力を身につける
(2) 災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士で共有する
- 2 対象 第2学年全クラス(約160名)、地域の方(約20名)
- 3 日時 令和5年12月15日(金) 9:50~12:40
- 4 場所 2-1、2-2、2-3、2-4、2-5:各ホームルーム教室、体育館
地域の方:2-1ホームルーム教室
- 5 内容 災害対応シミュレーションゲーム「クロスロード(山高Ver.)」
段ボールベッド・担架づくり体験 など

6 時程(現段階の予定)

9:50~9:55	各教室・体育館で開始(挨拶、説明)
9:55~10:40	2-1、2-2、2-3: 体育館で段ボールベッド・担架づくり体験 2-4、2-5:クロスロード(山高Ver.)
10:40~10:50	移動
10:50~11:40	2-1、2-2、2-3、地域の方:クロスロード(山高Ver.) 2-4、2-5:体育館で段ボールベッド・担架づくり体験
11:40~11:50	移動
11:50~12:40	豚汁の試食・片づけ まとめ、感想の記入

- 7 その他 地域の方(加生自治会)は3限から参加し、クロスロードは2-1(森林環境類型)の生徒と一緒に行動。